

急性期病院 A 一般入院料への転換について

（お知らせ）

2026 年 7 月 27 日

平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび当院では、地域の皆さまの医療ニーズにより一層お応えするため、令和 8 年 8 月 1 日より 2B 病棟を「地域包括ケア病棟（地域包括ケア病棟入院料 2）」から急性期病院 A 一般入院料へ転換することとなりました。

■ 急性期病院 A 一般入院料の病棟とは

救急医療体制や救急車の受け入れ台数、全身麻酔手術件数の実績など評価された医療機関であり、急性期治療を必要とされる方が手術などの入院治療をする病棟です。

また、短期間で自宅や在宅、回復期病院や施設へ円滑に移行できるよう、医療と入退院支援を行う事となり約 2 週間程度の入院となります。

■ 次のような患者さんを対象としています。

- ・手術などの急性期治療が必要な方
- ・救急車で搬送され、入院加療が必要と判断された方
- ・地域のクリニックなどの医療機関から当院に紹介され入院治療が必要と判断された方

■ 転換の目的

地域で当院が果たしている救急医療の維持や、手術を担う中核病院としての「病院全体の総合的な機能」の対応

■ 今後について

転換後も、これまでと変わらず患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供してまいります。ご不明な点やご相談がございましたら、どうぞお気軽にスタッフまでお声がけください。今後とも当院へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国際親善総合病院
院長 清水 誠